

やさしい心を育む 各小学校に人権の花寄贈

室 蘭人権擁護委員協議会が、虻田、とうや、洞爺湖温泉の各小学校を訪問し、「人権の花運動」の一環として花の苗贈呈式を行いました。

花の世話をを行いながら、優しい気持ちを育んでもらおうと同協議会が実施している取組みです。

6月27日には、藤原札幌法務局室蘭支局長と安住洞爺湖町人権擁護委員が虻田小学校を訪れ、マリーゴールドなど200株をプレゼント。同小の3年生が、校庭に植栽しました。

最後に、三枝くるみさんが「大切に育てていきたいと思えます」と感謝の言葉を述べました。



校庭に人権の花を植栽する虻田小学校の児童たち

7月5日、馬頭観世音慰霊祭（同観世音保存協会主催）が、大磯と歴史公園



愛馬を偲ぶ慰霊祭列席者

園内の馬頭観世音碑前で行われました。

入江馬頭観音堂前で行われた式典では、保存協会の会員や元馬主、農協関係者ら約30人が参列。亮昌寺の笠谷僧侶による読経の中で、一人ひとりが焼香を行い、活躍してくれた愛馬の往年を偲びました。

引続き、馬頭観世音保存協会の総会が開かれ、会務と会計が報告なされた後、懇親会が行われて会員相互の交流を深めました。

愛馬の往年を偲ぶ 平成28年度馬頭観世音慰霊祭

洞 爺湖管工事業協会（斉藤晶隆会長、加盟10社）は、7月11日、洞爺湖温泉にある公衆トイレの点検・無償修理ボランティアを行いました。



珍小島公園のトイレを点検、整備する技術者

同協会が毎年実施している技術を生かした地域奉仕活動の一環で、加盟各社から12人が参加しました。

珍小島公園駐車場のログハウス風トイレ、有珠山噴火記念公園駐車場の木造トイレなど8カ所で点検と整備を行いました。

斉藤会長は「洞爺湖を訪れる観光客の皆さんに気持ち良くトイレを使ってもらいたい」と話しました。

公衆トイレを点検、整備 洞爺湖管工事業協会ボランティア

西アフリカ選抜野球チーム来町 地元児童らと交流

日 本でプロ野球選手を目指す西アフリカの選抜チームが、7月15日、洞爺湖町役場を表敬訪問しました。訪れたのは、選手とコーチら12人です。

青年海外協力隊員が、西アフリカのブルキナファソで野球を普及。昨年同国の野球少年が、NPO法人洞爺にぎわいネットワークのサポート事業で来町し、町内の少年らと野球を通じて交流を行いました。

今回は、西アフリカの選抜チームとして7月2日に来日し、1カ月日本に滞在。町内には、12日から15日まで過ごし、洞爺湖温泉小学校での交流や地元少年団と合同練習などで親善を図りました。



日本でプロ野球選手を目指す西アフリカ選抜チーム

まちのわだい

